

月額コストわずか約10万円、屋根と電気さえあればどこでも使える！



燃料を一切使わず、産廃処理コスト大幅削減、低コスト、有害ガス無し、臭い無し

Super Waste processor SWP-120 II

プラスチックごみ等を低コストで焼却処理する画期的な装置

プラスチック製品、石油化学加工製品、ウレタン、ゴム、固化した塗装塗料、木材、紙、医療用廃棄物等ごみを焼却処理し、わずかな灰にしてしまう、環境にやさしくランニングコストが非常に低い画期的な磁力熱有機廃棄物焼却処理装置。従来有った排気ガスを水で洗浄するスクラバーが無くなり、水を必要としなくなったため、屋根と電気さえ有ればどこでも設置可能。熱効率がパワーアップし、タール液も発生無し。ごみの連続投入が可能で、効率良い廃棄物の処理とコストの大幅削減が可能。産業廃棄物業者、樹脂加工会社、塗装会社、製造メーカー、展示会場、ホテル、林業、農家、キャンプ場、スタジアム、ショッピングセンター、災害後の廃棄家具処理等多くの場所でお使いになれます。脱炭素達成 / カーボンニュートラルで地球温暖化防止に最も適した装置です。



プラスチックごみ

タイヤ

プリント基板

化学製品

段ボール

木材

医療ごみ

おむつ(他ごみと混ぜて)



『SWP-120 II』の大きな特徴

1. 屋根と電気さえ有ればどこでも使用が可能
2. 石油やガス等燃料を一切使わず、電気だけで焼却処理
3. 電気代月額10万円程度のランニングコストで、産廃費用を大幅削減
4. 排ガス、臭いを出さない
5. 高い熱効率
6. 灰は投入時容量の約1/300に減容
7. わずかな灰しか出ないため排出は月に1回で十分。後処理が簡単
8. 廃棄物を連続投入出来るため、効率の良いごみ処理が可能
9. 装置の構造が小型でシンプルのため、故障が無く、メンテナンスも楽
10. 水分を多く含んだおむつ等ごみは紙等と混ぜると早く効率的に処理
11. タール液は燃え尽きて排出無し

処理可能なもの

プラスチック製品、ウレタン、発砲スチロール、タイヤ、プリント基板、電線、乾いた塗料、石油加工化学製品、段ボール、紙、材木、医療廃棄物、布、廃魚、おがくず、コーヒー豆、チョコレート、ご飯、お米、わら、建設廃材、食品廃棄物等

処理不可のもの

鉄、金属、缶、乾電池、アルミ包装袋、ガラス、ビン、石、貝、コンクリート、水分の多いもの

大きいもの

投入口幅680X高500mmに入る様切断か破砕が必要

医療廃棄物は、ボックスごと投入が可能のため安全

600~800°Cの温度で処理出来る事で殺菌が可能

水分の多いおむつ等は木チップ等と混ぜると処理が可能

処理後の灰、小型機種 SWP-80 II

上から投入。二重扉で煙を防ぐ

灰は、底部に落ちて貯まる

灰

小型機種SWP-80 II

下のQRコードで、本製品の最新情報や動画をご覧ください



『SWP-120 II』が有ると問題解決が出来る場所

産廃業者

廃タイヤ産廃業者

ごみ回収の来ない僻地

国立公園

孤島(写真は南太平洋ニウエ島) 枯葉や農産物の野焼き

山頂



ここがポイント！

1. 屋根と電気さえあればどこでも使える
2. 石油、ガス等燃料を使わないため、燃料継ぎ足し等が不要で手が掛からず楽
3. 電気代はSWP-120 II の場合毎月10万円前後で、他の費用は掛からず、産業廃棄物処理費用の大幅削減が可能
4. ごみが減った場合24時間いつでもごみを上から追加投入する事が出来、処理効率が高い
※パッチ方式の場合は処理終了まで待たなければならない
5. 装置の構造が非常にシンプルで故障が少なく、メンテナンスも楽。保守費用も不要で経費が掛からない
6. 灰が投入時の約1/300になり、灰の掻き出しが1か月に1度程度で楽(ごみの種類により変わります)
※一般的な焼却炉は毎日灰を除去しなければならない

焼却炉と何が違うの？

1. 焼却炉はガスや燃料で炎を起こしごみを燃やしますが、燻焼炉は炎が無く、火鉢やバーベキューの炭と同様に熱と煙で分解
2. Super Waste Processorは燻焼炉方式を用い、二酸化炭素やダイオキシンを発生させない独自技術で処理

一般的な磁石ごみ分解炭化炉装置とSuper Waste Processorは何が違うの？

1. 二酸化炭素、有害ガス排出量が極めて少なく、定期的な排気測定試験では基準値を大幅に下回る値を常に記録
2. 非常に優れた熱効率技術
3. タール液は燃え尽きて乾燥する
4. 使い易いコンパクト設計

『SWPシリーズ』の仕様

製品名	SWP-80 II フラットドアモデル	SWP-120 II
装置寸法 mm	1,500 X 1,300 X 高1,800	1,800 X 1,800 X 高3,200
1日の処理量 m3	0.5~1.5m3 (0重量0.2~0.5ton) ※対象物により異なる	2.0 ~ 7.0m3 (重量0.7~2ton) ※対象物により異なる
ごみ投入口寸法	幅530 X 縦530 mm ※高さをご希望寸法	幅580 X 縦500 mm
消費電力/200V	3~8kWh	5~15kWh

排ガス測定結果 (2021年3月)

項目	測定結果	単位	計量方法
ばいじん濃度	2.6	mg/m3	JIS Z-8808に準拠
窒素酸化物濃度	26	mg/m3	JIS K-0104に準拠
塩化水素濃度	2.0以下	mg/m3	JIS- K-0107に準拠
一酸化炭素濃度	25	ppm	JIS K 0098に準拠
ダイオキシン類	4.3	Ng/m3	JIS K-0311に準拠

販売代理店



Cutting Edge!!
カッティングエッジ!!

カッティングエッジ株式会社

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-9-6

TEL / FAX : 03-6822-5613

<https://cuttingedge-tech.jp/>

sales@cuttingedge-tech.jp



お問い合わせ先はこちら